

はぶたえもちきょうりゅう
羽二重餅恐竜

はぶごん

福井県のおいしい銘菓から 真っ白な恐竜が生まれました。

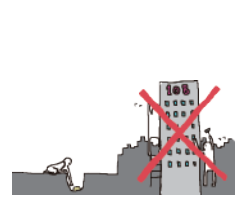
福井県銘菓羽二重餅のキャラクター 1/4
20116020 勝山 莉沙



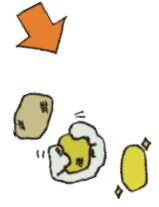
背景



福井県は北陸新幹線開通を目前として、観光PRに力を注いでいる。



しかし観光向けに真新しい開発を進めること無く、昔からの空気をそのまま保っているかわりに、新鮮さに欠ける福井県にふさわしい観光アピール



それには福井県で古くから愛されきたものの魅力を再発掘し、外に伝えると共に、市民にも再び注目してもらうことが大切であると考えた。



「内外への観光的魅力のアピールが本制作のテーマである。」

羽二重餅とは



福井県は古くから織物の町として栄えていた。なかでも「羽二重」と呼ばれる絹織物は丈夫で手触りがよく、献上品や輸出品として生産されていた。



そんな市民の声を聞いた地元の和菓子屋は

「せつかくこんな美しい羽二重まじりの名産品があるのに、高価だからお土産としてあげることができない」

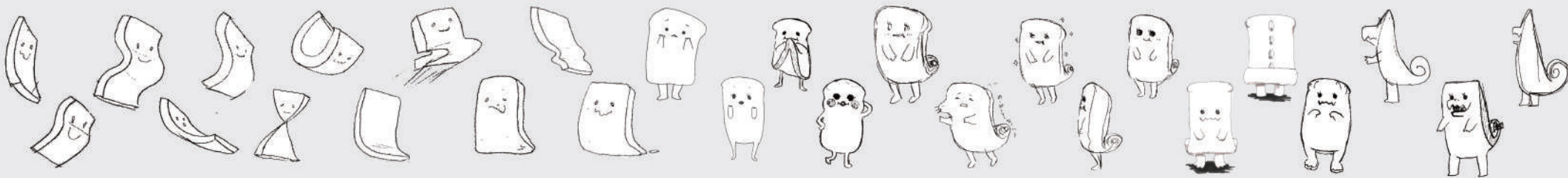


こうして羽二重の肌触りをそのまま再現したお菓子が生産した。

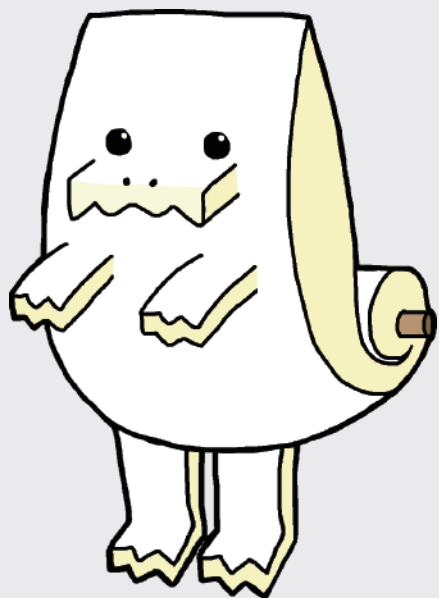
「羽二重」に代わるお土産を考案するべく、



最上級の贈り物をしたいたいという気持ちがこめられたお土産それが羽二重餅である。



キャラクター決定案

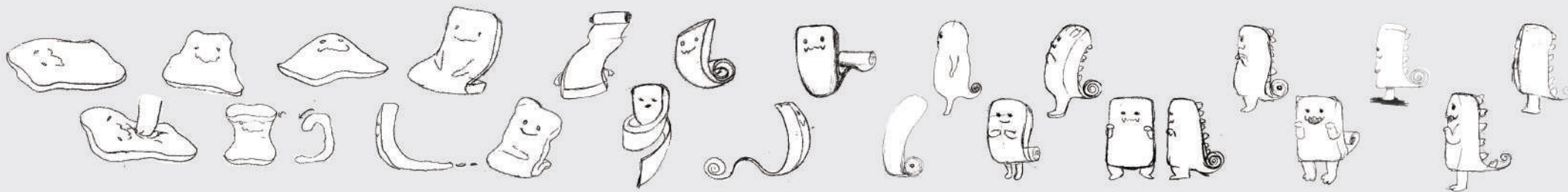
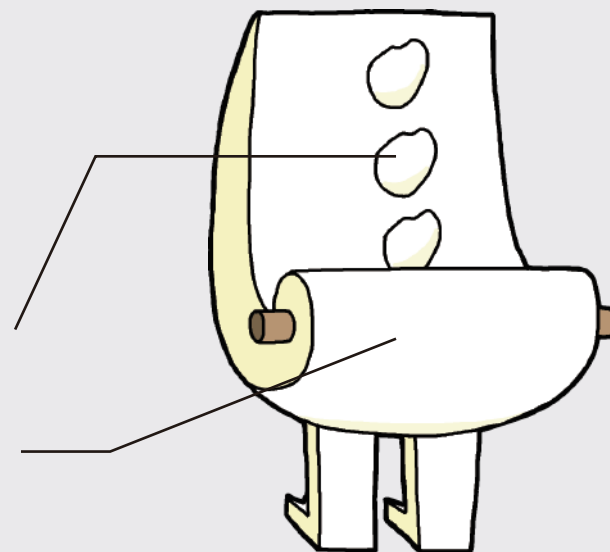


羽二重餅を元に、以下の3つのモチーフを取り入れた。

恐竜：福井県が恐竜王国といわれるほど恐竜の化石がたくさん出ることから

背びれ：お米がモデル。福井県が全国屈指の米どころであることから

しっぽ：福井県の高級織物である羽二重織がモデル。福井県が織物の町であること、羽二重餅が羽二重織を元に作られたことから





着ぐるみのスタディ

スタイロフォームで作成したモデルを元に3Dデータを作成した。

3D化

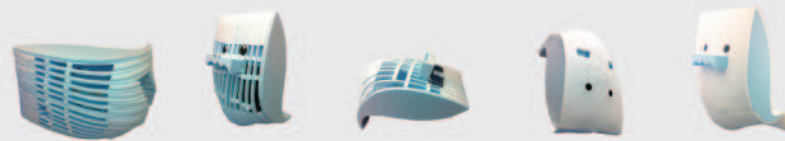


本体の図面化

着ぐるみ本体のスタディから形状を3Dデータ化し、三次曲面を作成する図面を作成した。

論文による調整

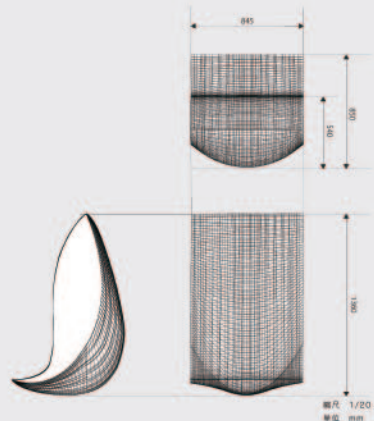
卒業論文より、イラストのキャラクターの身体バランスを保った着ぐるみを作成するために調整を行った。



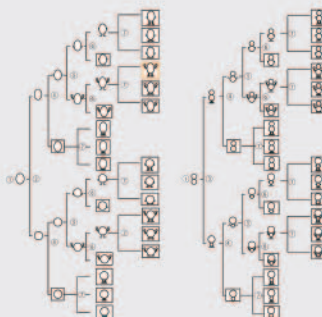
人体図

本体の図面に調整を加えたものに、人間の身体の動きやすさを考慮した人体図を作成した。

着ぐるみ化



はぶごんは以下の図中の□の形状に当てはまるため、足の長さが元の足の長さから体長の約29%までに納まっていた場合、元のイラストの身体バランスを保つことができる。



1. 脚上部分「足」を決定し、適宜に寸法を決定する
2. 脚中の関節部分が11で決定する
3. 脚中の関節部分が11で決定する
4. 脚中の関節部分が11で決定する
5. 脚中の関節部分が11で決定する
6. 脚中の関節部分が11で決定する
7. 脚中の関節部分が11で決定する

